

しあわせ

第 124 号

社会福祉法人
棚倉町社会福祉協議会
棚倉町大字棚倉字中居野68番地1
電話 (0247) 33-2623
FAX (0247) 23-1525

「赤十字にここ健康教室」開催

6区・15区お茶のみサロンで「赤十字にここ健康教室」を開催しました。当日は、日本赤十字社福島県支部から赤十字健康生活支援講習指導員を招き、健康を維持するためのポイントについての講義を受け、健康に暮らすために役立つ技術や非常時に役立つ知識を学びました。



コップ1杯のお湯でもとても暖かいホットタオルが出来上がりました。早速首や肩に当てて「気持ちいい！」という声が上がりました。



段ボールを利用して作る足湯や、非常時に役立つようにと新聞紙スリッパの作り方を学びました。



社会福祉協議会は地域福祉の要として、多くの人の善意に支えられ、福祉事業活動を行っています。住み慣れた町（地域）で安心して、生活できるよう、みんなで互助の心をはぐくみ、支え合い、福祉の「まちづくり」を推進しましょう。

	ページ
・新年のご挨拶	2
・御寄附紹介・会員会費報告・共同募金	3
・しあわせ指定居宅介護支援事業所・地域サロン	4
・地域包括支援センター	5
・ボランティアセンター	6～7
・お知らせコーナー	8

新年のごあいさつ

棚倉町社会福祉協議会
会長(町長)
湯座 一平



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、それぞれの感慨や抱負を胸に、新しい年をお迎えになられたことと存じます。

また、日頃より当社会福祉協議会の運営につきましては、温かいご支援とご協力をいただきありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、福島県でも感染対策として、飲食や移動など行動の制限をし、町民の皆様にご協力をお願いしてまいりましたが、感染状況が抑制傾向にあることから、県は飲食人数制限などを撤廃いたしました。町民の皆様におかれましては、今後も感染リスクを下げながら飲食を楽しむ工夫などしていただきながら、継続してマスクの着用など基本的な感染対策をお願い申し上げます。

さて、社会や家庭のあり様が大きく変化し、地域においては人と人とのつながりが希薄化するなど住民の福祉課題や生活課題が多様化・深刻化しています。

この様な状況の下、当社会福祉協議会では民生児童委員協議会はもとより、ボランティア団体等と協働しながら町民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会の実現を目指す地域福祉活動を積極的に展開してまいりますので、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、健康で、喜びと幸せに満ちた1年となりますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

ご寄附

社会福祉に役立ててくださいと、多くの方々から善意の寄附金が寄せられました。深く感謝申し上げます。(令和3年9月21日～令和3年12月10日)

御遺志による寄附 (順不同)

石井 美寛様	寺 山	植村 美洋様	白河市
近藤 和幸様	堤	近藤 猛司様	一 色
秦 達明様	逆 川	須藤 常雄様	堤
菊地 裕一様	福 井	中村 勝男様	関 口
富田 郁男様	茨城県	浅賀 正典様	新 町
笹島 大暉様	寺 山	大山 幸子様	日向前
川瀬 淑郎様	観音向	緑川 平夫様	大 梅
近藤みゆき様	清戸作	安齋 正昭様	観音向
小木 守 様	白河市	佐藤 和弘様	中山本
北條 寛治様	玉 野	戸井田博史様	北 町
割栢 昌伸様	小 爪	蛭田 喜男様	岡 田

♡その他の寄附

もったいない会 曲山 和子様



リサイクル代の一部として

社会福祉協議会の会員会費にご協力ありがとうございました

町民の皆様には、社会福祉協議会の活動に賛同いただきありがとうございました。令和3年度会員会費の実績は下記のとおりとなりました。

総 額	1, 6 4 0, 0 0 0 円		
内 訳	特別会員	1 3 世帯	2 6, 0 0 0 円
	一般会員	3, 2 2 0 世帯	1, 6 1 4, 0 0 0 円



この会員会費は、地域に根差した福祉活動を進めるための財源として有効な活用を図ってまいります。今後とも当協議会の事業運営についてご理解とご協力をお願いいたします。

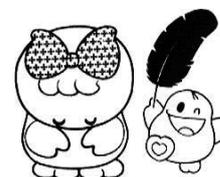


愛ちゃん希望くんだよ



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動 ご協力ありがとうございました

10月1日から実施した「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」には毎年ご協力を賜り感謝申し上げます。募金結果と配分実績については、令和4年4月1日発行予定の当会広報「しあわせ第125号」にて報告いたします。





しあわせ指定居宅介護支援事業所



棚倉町の介護保険状況について

令和3年8月末現在で、棚倉町における65歳以上の高齢者人口は4,405人になり、高齢化率は3割を超えています。その中で、756人の方が要介護(要支援)認定を受けていますが、それぞれの区分の人数は下記のようになっています。(厚生労働省ホームページより)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
51人	129人	64人	165人	145人	141人	61人	756人

私たち、しあわせ指定居宅介護支援事業所では、基本的に要介護1以上の方を対象に可能な限り自立した日常生活を送ることができるように、介護サービス等を組み合わせてご利用者様・ご家族様と相談しながら支援をしています。今後、ますます高齢者が増えていく中で、1人ひとりができる限り要介護状態にならないよう健康の維持、増進に努める事が大切です。今回は、介護サービスが必要になった時の相談窓口や、介護保険申請についてご紹介します。

介護支援専門員が、介護保険サービス利用等のお手伝いをします。

☎ 33-2623 (担当：江戸・安久津・西牧)

生活支援コーディネーターだより

棚倉町には高齢者サロンが18ヶ所あります。**サロン**とは、地域の人たちが身近な場所で気軽に集まり、仲間と楽しく過ごせる「**通いの場**」です。自然と仲間ができて、地域でのつながり・支え合いの関係ができていきます。今回は、地域の皆さんが中心となり活動している14区サロンと、今年度新たに始まりました3ヶ所のサロンをご紹介します。

～14区サロン～

毎月第3土曜日に、14区コミュニティセンターで開催しています。柔軟体操、脳トレ体操、太極拳は参加者が指導して、介護予防に努めています。活動内容は当番で考え、裁縫や編み物など様々なことに取り組んでいます。今回はバラのブローチ作りを行いました。



～下手沢・上手沢サロン～

第3木曜午前10時から開催。参加者は15名程度。シナプソロジーで脳トレ中!



～八槻2区3区サロン～

第4金曜午後1時30分から開催。参加者は15名程度。籠作りを行いました!



～小爪・祝部内サロン～

第1金曜午後1時30分から開催。参加者は13名程度。保健師の健康講話を聴講しました。



※サロン活動に興味のある方は棚倉町社会福祉協議会までご連絡ください。☎ 33-2623

こんにちは！ 地域包括支援センターです

～地域包括支援センターは、高齢者又はその家族等のなんでも相談窓口です～

☎33-7811 ※休日や夜間も電話転送により対応しています。



ハラスメント対応研修「カスタマーハラスメントへの理解を深める」

10月20日、菅原俊博氏（社会福祉法人 東白川福祉会 相談役）を講師に招き、ハラスメント対応研修を開催しました。町内の居宅介護支援事業所や施設職員34名が参加しました。

『カスタマーハラスメント』とは、消費者や客の立場を利用して、理不尽な要求や謝罪を強要する等の著しい迷惑行為のことを指します。その概要と予防策を含めた対処法について理解を深めました。

参加者からは「実際の現場で生かせるような内容でとても参考になった」「事業所内でハラスメントに対する共通意識を持つことが大切だと分かった」と感想が聞かれました。



令和3年度 第2回家族介護教室

『知って安心！認知症について』～たなちゃんカフェ～

11月4日、保健福祉センターで家族介護教室と合同でたなちゃんカフェ（認知症カフェ）を開催しました。

今回はさくら薬局塙店の星正通氏（管理薬剤師）を講師に招き、認知症の種類や治療薬について教えていただきました。

参加者からは、「処方された薬について、詳しく聞ける機会が今までなかった。薬剤師へ相談してもいいことが分かって安心した」と感想が聞かれました。

その後は、認知症の人への関り方のコツについて学び、参加者同士の交流の時間を楽しみました。



令和3年度 1区自治会福祉懇談会

11月28日、1区自治会で年に1回開催している福祉懇談会に参加しました。今年は「認知症にならないために～生活習慣の改善～」について講話を行いました。例年に比べ参加者も多く、認知症に関することへの関心の高さが伺えました。

認知症とはどんな病気なのか、認知症の種類、予防するための生活習慣の改善方法について、理解を深めました。

講話の後は、健康づくり体操としてシナプソロジー・青竹ビクス・『棚倉に会いに来て』体操を行いました。



青竹ビクスに挑戦！！

【問い合わせ】 棚倉町地域包括支援センター（担当：後藤、西牧(和)、川崎、小林）

ボランティアセンター

棚倉町赤十字奉仕団 銀色有功章を受章しました。！！



おめでとうございます！

10月20日(火) ビックパレットふくしまにおいて「令和3年度赤十字ボランティアのつどい」が開かれ、棚倉町赤十字奉仕団の曲山和子さん、角田信子さん、下重安代さん、陣野貞子さん、加藤節子さんの5名が長年にわたるボランティア活動への尽力が認められ、日本赤十字社から『銀色有功章』を受賞しました。同日角田さん、下重さん、曲山さんが町長室を訪れ湯座町長に報告しました。



また、12月10日(金)「ゲートキーパー」の研修を行い、その後一人暮らしの75歳以上の方々に心を込めて年賀状の宛名書きを行いました。「良い年を迎えられますように！！」と願いを込めて書いていました。



傾聴ボランティアほほえみ会 福島県知事感謝を受章！

11月5日(金)第75回福島県社会福祉大会が相馬市民会館で行われ、傾聴ボランティアほほえみ会が福島県知事感謝を頂きました。長年施設や個人宅で傾聴ボランティアを続けてきたことが評価され表彰されました。



歌体操たんぽぽ 福島県社会福祉協議会会長感謝を受賞！

歌体操たんぽぽが福島県社会福祉協議会会長感謝を頂きました。会員が歌に合わせた体操を考え、いきいきくらぶや地域サロンで活動しています。新規会員を募集していますので、一緒に楽しく身体を動かしませんか？



絵手紙の会福寿草 ~まごころ込めて描きました。~



12月6日(月)会員が描いた絵手紙を寿恵園に展示してもらうことができました。季節の花、風物詩、果物等温もりを感じる作品になりました。「利用者や職員の方たちに楽しんでもらえれば・・・」と思いながら描きました。



いきいきくらぶボランティア

歌体操たんぽぽ

10月19日、20日、21日の3日間歌体操たんぽぽの皆さんが来てくれました。みんなが良く知っているような童謡や歌謡曲に合わせて体操を作り上げ、みんなで楽しく踊ることが出来ました。「歌に合わせて身体を動かすと簡単に動かすことが出来るね」と、楽しそうに動かしていました。利用者は「おもしろかったね!」「また来てください!」と声をかけていました。



棚倉町食生活サポーターパプリカ

11月16日、17日、18日にパプリカの皆さんに、手作りの昼食を作って頂きました。利用者はとても楽しみにしていて「今日は何が出てくるのかな?」とわくわくして待ちました。「里芋おいしいねー」「豚汁久しぶりで美味しい!」とくちぐちに言いながら嬉しそうに感謝して食べていました。



[メニュー]

- ・ごはん ・豚汁
- ・鶏つくねとごぼうの照り焼き
- ・青菜のおひたし
- ・ヨーグルトイチゴソースかけ
- ・里芋のみそ和え

10月から12月まで活動して頂いたボランティアの皆さま

☆いきいきくらぶ：棚倉町食生活サポーターパプリカ
：歌体操たんぽぽ
：傾聴ボランティアほほえみ会

☆ボランティアあすなろ：寿恵園

☆棚倉サウンドテーブルテニスクラブ

☆音声コードの会・たなぐら

☆タオルをたくさん頂きました。：小野鈴恵さん
：高阪千枝さん 武地えい子さん

ご協力ありがとうございました。

※ボランティアセンターでは未使用のタオルを募集しています。(連絡先：33-2623)



お世話になりました。



今年もよろしくお願ひします。良い年になりますように!!

お知らせコーナー

《心配ごと相談》

【民生委員による相談】 日時 毎月第2月曜日 午前9時～正午(祝祭日の場合は翌日)
1月11日 2月14日 3月14日

【弁護士による相談】 日時 毎月第3木曜日 午前10時30分～午後3時
1月20日 2月17日 3月17日

※あらかじめ電話 **【33-2623】** で予約をしてお越しください。

※電話による受付予約は、前日 9時～17時まで
当日 9時～12時まで とします。

※来所による受付は、当日午前9時～午後3時までとします。

※相談については秘密を守ります。 ※相談は棚倉町保健福祉センター内相談室で行います。

※無料で相談に応じますのでお気軽にご利用下さい。

◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とする場合があります◆

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活資金にお悩みの皆さまへ

●緊急小口資金及び総合支援資金(初回)について
申請期間が令和4年3月末日まで延長になりました。

●総合支援資金(再貸付)について
申請期間が令和3年12月末日まで延長になりました。

貸付手続きの流れ



※申込先・問合せ先はお住まいの(住民票のある)市町村社会福祉協議会まで。

◆商品を寄贈いただきました◆

株式会社セブン-イレブン・ジャパンさんより店舗改装時に発生した在庫商品の一部が寄贈されました。高齢者や障がいのある方、生活に困難を抱えた個人や世帯への支援を目的に有効活用していきます。



地域福祉ネットワーク活動のご案内

○福祉活動をする行政区や自治会にその活動費の一部を助成します。

- ・声かけ、安否確認及びふれあい訪問等の見守り活動等
- ・福祉活動の各種研修会、会議等の開催等

○地域サロン 地域のコミュニケーションの強化、健康増進などを目的に実施

活動内容：各地区での茶話会、趣味活動、レクリエーション等

場 所：地域の集会所等

対 象：どなたでも参加できます

助 成：参加者15人以下 1,500円/回

(行政区単位) 参加者16人以上 2,000円/回

※各地域の要望により開催しておりますので、お気軽にご相談ください。

